

シークレットマネージャー > 統合

GitHubアクション

ヘルプセンターで表示:

<https://bitwarden.com/help/github-actions-integration/>

GitHubアクション

Bitwardenは、シークレットマネージャーから秘密を取得し、それらをGitHub Actionsワークフローに注入するためのGitHub Actionsとの統合を提供します。統合は、アクション内のマスクされた環境変数として取得したシークレットを注入します。統合を設定するには：

アクセストークンを保存します

このステップでは、アクセストークンをGitHubの暗号化されたシークレットとして保存します。暗号化された秘密は、組電、リポジトリ、またはリポジトリ環境のために作成することができ、GitHub Actionsのワークフローで使用するために利用可能になります。

1. GitHubで、リポジトリに移動し、**設定**タブを選択します。
2. 左側のナビゲーションのセキュリティセクションで、**シークレットと変数**→**アクション**を選択します。
3. **シークレット**タブを開き、**新しいリポジトリシークレット**ボタンを選択します。
4. 別のタブで、シークレットマネージャーのウェブ保管庫を開き、**アクセストークン**を作成します。
5. GitHubに戻って、あなたの秘密に**名前**を付けてください。例えば、**BW_ACCESS_TOKEN**のように。そして、ステップ4からのアクセストークンの値を**シークレット**入力に貼り付けてください。
6. **シークレットを追加**ボタンを選択してください。

あなたのワークフローファイルに追加してください

次に、GitHub Actionsのワークフローファイルにいくつかのステップを追加します。

秘密を手に入れる

あなたのワークフローに秘密を取得するには、以下の情報を含むステップをワークフローのYAMLファイルに追加してください：

Bash

```
- name: Get Secrets
  uses: bitwarden/sm-action@v2
  with:
    access_token: ${{ secrets.BW_ACCESS_TOKEN }}
    base_url: https://vault.bitwarden.com
    secrets: |
      fc3a93f4-2a16-445b-b0c4-aeaf0102f0ff > SECRET_NAME_1
      bdbb16bc-0b9b-472e-99fa-af4101309076 > SECRET_NAME_2
```

どこで

- `${{ secrets.BW_ACCESS_TOKEN }}`は、以前に保存したリポジトリの秘密を参照します。秘密の名前を**BW_ACCESS_TOKEN**に設定していない場合は、それに応じて変更してください。

- `fc3a93f4-2a16-445b-b0c4-aeaf0102f0ff`と`bdbb16bc-0b9b-472e-99fa-af4101309076`は、シークレットマネージャーに保存されている秘密の参照識別子です。あなたのアクセストークンが所属するサービスアカウントは、これらの特定のシークレットにアクセスできる必要があります。
- `SECRET_NAME_1`と`SECRET_NAME_2`は、次のステップで注入された秘密の値を参照するために使用する名前です。

秘密を使う

最後に、指定された秘密の名前 (`SECRET_NAME_1`および`SECRET_NAME_2`) をパラメータとして後続のアクションで参照することで、パスウェイを完成させることができます。例えば：

Bash

```
- name: Use Secret
run: SQLCMD -S MYSQLSERVER -U "$SECRET_NAME_1" -P "$SECRET_NAME_2"
```